

【道路交通情報Webサービスを使った複合Webサービス実証実験成果資料】



B l o g

小林茂(日本ユニシス(株))  
玉川竜司(Sky(株))

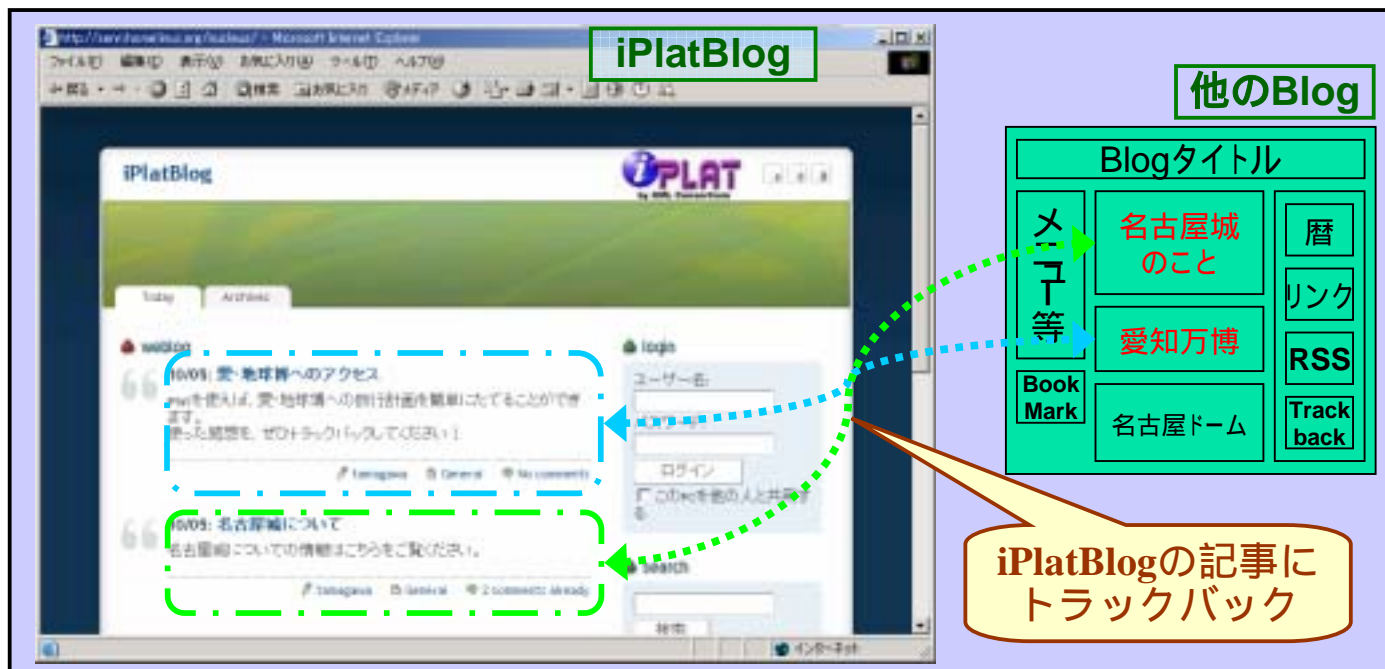
# Blog

## 機能概要

愛・地球博，パビリオンの記事，周辺を紹介するコンテンツが掲載されたBlog。

## 特徴

キーワードごとに分別されたコンテンツに，他のサイトからトラックバックすることができる。



The screenshot shows the iPlatBlog website interface. The main content area displays two blog posts. The first post is titled "愛・地球博へのアクセス" (Access to Aichi World Exposition) and the second is "名古屋城について" (About Nagoya Castle). A sidebar on the right, titled "他のBlog" (Other Blogs), lists various navigation and utility links including "Blogタイトル", "メニュー等" (Menu), "Book Mark", "名古屋城のこと", "愛知万博", "名古屋ドーム", "暦", "リンク", "RSS", and "Track back". A yellow callout box points to the sidebar with the text "iPlatBlogの記事にトラックバック" (Track back to iPlatBlog articles).

# トラックバック

iPlatBlog

他のBlog

iPlatBlog上  
マレーシア館  
の記事

マレーシアに  
関する記事

トラックバックURL

The screenshot shows the iPlatBlog interface in Internet Explorer. At the top, the URL is <http://iplat.xmlconsortium.org/>. The page title is "愛・地球博のマレーシア館を見てみたい". The main content area shows a comment from user "s-kobaB4" dated "2005-06-03". The comment text is: "未だに愛・地球博に行く機会を持っていない。色々なところを見て回りたいが、rss視聴にあるマレーシア館の音も見てみたい。一度、東京で見たことがあるので、そう思った。". Below the comment is a "TrackBack" section with the URL <http://iplat.xmlconsortium/>. A red box highlights the "TrackBack" section, and a red arrow points from it to the "トラックバックURL" label. A purple dashed box highlights the comment text, and a purple dashed arrow points from it to the "マレーシアに関する記事" label. A green box highlights the "iPlatBlog上 マレーシア館の記事" label, and a green dashed arrow points from it to the comment text. A green box highlights the "他のBlog" label, and a green dashed arrow points from it to the comment text.

The screenshot shows a blog post titled "マレーシアと言えば" (When you think of Malaysia). The URL is [iplat Blog / 2005-06-03 21:26:55](http://iplat.xmlconsortium.org/2005-06-03/21-26-55/). The text of the post is: "マレーシア館の音の様子を見て、マレーシアにまつわる「ジョホールバルの歓喜」を思い出した。それは1997年のこと。1998年ワールドカップフランス大会の最終予選で、日本対イランの試合がマレーシアのジョホールバルで開催された。前半に先制ゴールを決めたが、後半に入りイランの猛攻から2失点で逆転された。後半14分同点に追いついた時、岡田聖徳は野人同野を投入。そして延長28分、決勝ゴールを決めたというもの。". A purple dashed box highlights the main text of the post, and a purple dashed arrow points from it to the "マレーシアに関する記事" label. A green box highlights the "マレーシアに関する記事" label, and a green dashed arrow points from it to the main text of the post. A green box highlights the "iPlatBlog上 マレーシア館の記事" label, and a green dashed arrow points from it to the main text of the post.

# FORMによるトラックバック要求



オプション: 常に UTF-8 として URL を送信する (再起動が必要)

トラックバックPINGの送信 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

トラックバックPingのURL:

ブログ名:

記事タイトル:

記事概要内容:

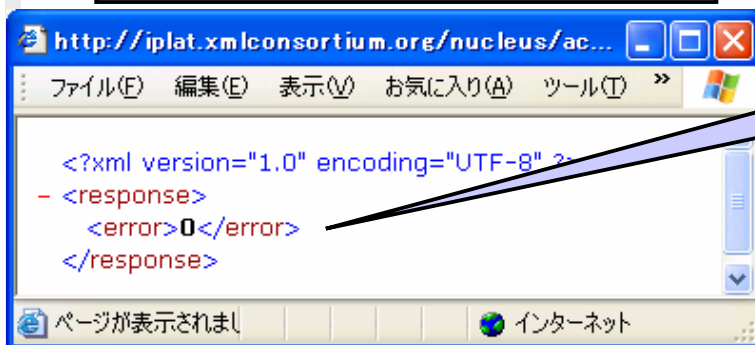
記事 URL:

ページが表示されました

```
<form method="POST" action=".....">  
  <div>ブログ名:<input type="text" name="blog_name" size="50" /></div>  
  <div>記事タイトル:<input type="text" name="title" size="50" /></div>  
  <div>記事概要内容:<textarea name="excerpt" rows="3" cols="60"></textarea></div>  
  <div>記事 URL:<input type="text" name="url" size="100"/></div>  
  <div><input type="submit" value="トラックバックPING" /></div>  
</form>
```

# トラックバックの応答メッセージ

## トラックバックに成功したとき



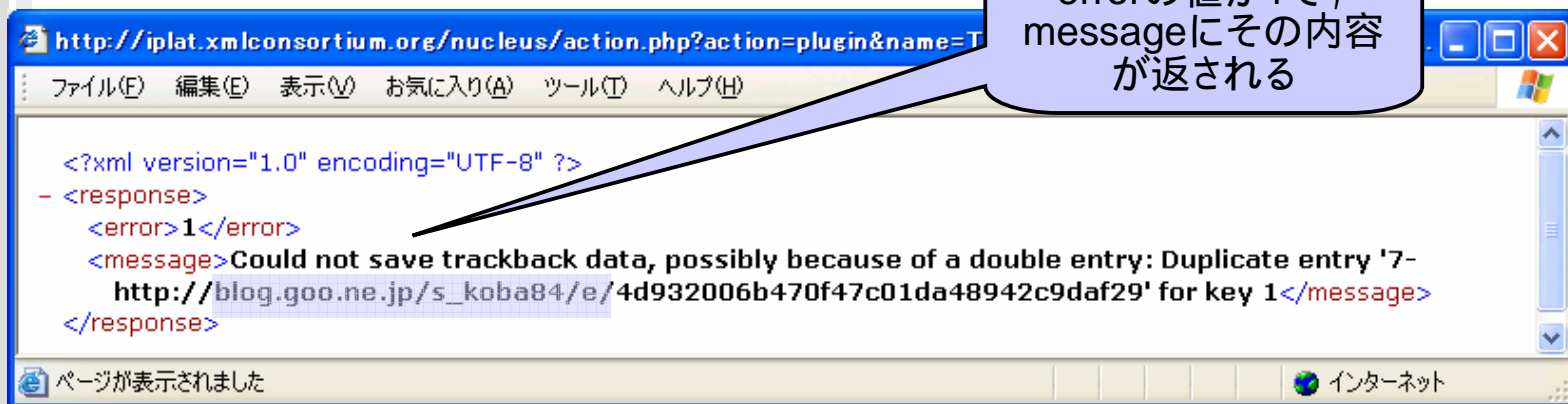
```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <response>
  <error>0</error>
</response>

```

errorの値が 0

## トラックバックに失敗したとき



```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <response>
  <error>1</error>
  <message>Could not save trackback data, possibly because of a double entry: Duplicate entry '7-
    http://blog.goo.ne.jp/s_koba84/e/4d932006b470f47c01da48942c9daf29' for key 1</message>
</response>

```

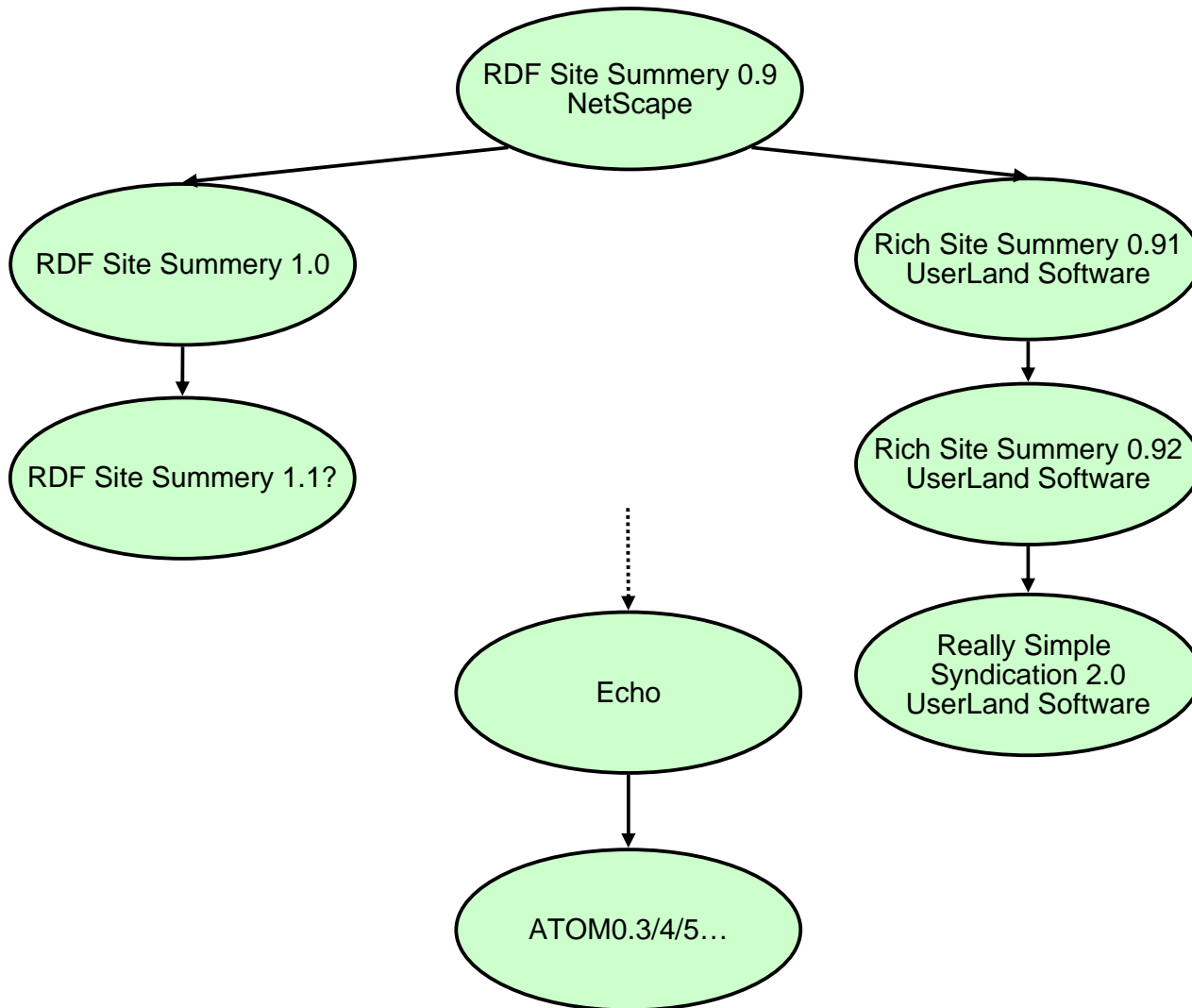
errorの値が1で、  
messageにその内容  
が返される

- オープンソースのBlog/CMS
- <http://www.nucleuscms.org/>
- 技術情報が公開されている (DBのスキーマ)
- 日本語の情報も比較的豊富



- Blog連携サービスはAtomフィードを受け取る
  - 複数のサービスとの連携ではあるが、差異はAtomで吸収し、統一的なフォーマットで処理ができる
  - 緩い連携を実現する: HTTPでGetして返ってきたAtomをparseするだけ
- Nucleusのコンテンツは、MySQLへアクセスすることで取得できる
  - <http://docs.nucleuscms.org/blog/14>
- Nucleusは各種のBlogAPIをサポートしているが、今回の目的にはやや不向き
- 独自にAtomフィード生成機能を実装 (PHP)
- ライブラリとしてFeedCreatorを使用
  - <http://www.bitfolge.de/rsscreator-en.html>

# Atomに至る歴史





# Atomを使うと何がうれしい!



- RSSの進化は、基本的にはもう止まっている
  - RSSはReally Simpleであるがゆえに成功した
  - ただし、より複雑なデータを扱うための厳密な仕様定義という点が弱い
  - RSS1/2系の仕様は、その策定者たちによって「凍結」が宣言されている(マイナーなメンテナンスはある?)
- Atomでは、仕様に関する議論がオープンかつ活発に行われている
  - やり取りされるデータのフォーマットや、そのエンコード/エスケープの仕方が厳密に定義されている
  - よりリッチな情報を、互換性の心配なくやりとりできるようになる(だろうと思われる)
- 乱立するコンテンツ操作のAPIが統一される可能性がある
  - xmlrpcをベースにする一連のAPIは一定の成功を収めているものの、複数のAPIが乱立している
  - Atom Publishing Protocolによって統一されれば、ソフトを書くほうはもちろん楽

# Atom Syntax – 簡単な例



```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<feed version="draft-ietf-atompub-format-05:do not deploy"
  xmlns="http://purl.org/atom/ns#draft-ietf-atompub-format-05">
  <head>
    <title>Example Feed</title>
    <link href="http://example.org/" />
    <updated>2003-12-13T18:30:02Z</updated>
    <author>
      <name>John Doe</name>
    </author>
  </head>
  <entry>
    <title>Atom-Powered Robots Run Amok</title>
    <link href="http://example.org/2003/12/13/atom03"/>
    <id>vemmi://example.org/2003/32397</id>
    <updated>2003-12-13T18:30:02Z</updated>
  </entry>
</feed>
```

# トラックバックにまつわる諸々の問題

- 文字コードの問題
  - 仕様レベルで中途半端(エンコードの指定がない)
  - 実際に文字化けが発生するケースに遭遇
- セキュリティ上の問題
  - XMLに基づく連携システム中に、外部から送信されたデータが入ってくる
  - クロスサイト・スクリプティングのような問題が起こりうる:適切なエスケープ処理が重要
- 全体に、緩い仕様に基づいて普及してしまっているように思えるが、緩い仕様の故に広まったという側面もあるかもしれない